

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和6年度実績(令和7年3月までの見込み含む))

令和 6 年 12 月 末 作成

圏域施策 大項目	圏域施策 中項目	再 掲	報告担当 市町名	管内実施主体 ^{注1)}	他自治体・関係団体 等との連携 ^{注2)}	事業名	事業概要	事業 期間 ^{注3)}	R6年度計画	R6年度実績(R7年3月までの見込み含む)	財源 ^{注4)}
(1)新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組	②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備		白石市	白石市		地域おこし協力隊を活用した観光振興事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2～	令和5年度に造成した本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップや、旅行会社へのPRを行う。また、外国人観光客の誘客につながるよう、SNSや動画投稿サイトへの情報発信を行う。	・令和6年11月までの甲冑体験人数 401人 ・テレビ朝日「10万円ですでかな」、NHK「COOL JAPAN」への出演 ・桜まつりやGWなど、多くの方が来場するタイミングでイベントを実施している。 ・伊達武将隊片倉倉十郎景綱と連携したイベントを開催し、45人が参加者した。	
			蔵王町	蔵王町		体験交流活動に係る情報発信用プラットフォーム整備事業	蔵王町公式ホームページ内に、体験交流活動に関するページを作成し、情報発信を行える体制を整えるとともに、担当職員により随時追加・更新することで、受入事業者の拡充を図る。	R4～	体験活動内容の修正や、新規追加(削除)。	掲載内容の見直し及び新規体験活動の追加に向けた調査を予定(準備中)	
			蔵王町	町内観光誘客事業者	・蔵王町 ・遠刈田温泉株式会社 ・遠刈田温泉旅館組合 ・遠刈田温泉観光施設 ・(一社)蔵王町観光物産協会	観光庁「令和5年度事業地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」	多種多様な趣向を持つ観光客が行き交う特徴の遠刈田温泉において、誰もが楽しめるようユニバーサルツーリズムの観点を取り入れた旅館等施設の高付加価値改修と、蔵王の大自然に調和する外装改修を行う。	R6	【ハード施策】 ・宿泊施設の高付加価値化改修 ・観光施設の改修 【ソフト施策】 ・観光・農業連携 ・蔵王広域連携 ・ユニバーサルツーリズム ・多様な滞在コンセプト	【ハード施策】 ・宿泊施設の高付加価値化改修:1月下旬完了予定 ・観光施設の改修:1月下旬完了予定	観光庁「令和5年度事業地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	農業体験などによる宿泊型交流事業	宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。	R1～	(株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通したイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図るほかSDGsにも寄与する。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ仙台)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。	・(株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通したイベントを展開し、町に訪れる交流人口の増加を図った。 ・第1回種まき体験実施 5/25(土) 参加者6名 ・第2回種まき体験実施 6/8(土) 参加者5名 ・収穫体験会 10/5(土) 参加者31名 ・ベガルタ戦戦町民ツアーにおいて収穫した野菜の販売会を実施 10/19(土)	
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	南蔵王やまびこの森整備事業	南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをおして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。	R1～	引き続きキャンプ場運営だけでなく、長老湖でのアクティビティなど観光集客につながる事業展開を行う。	キャンプ場運営に加え、長老湖を利用した SUP体験や貸しポート事業のほか新たに売店営業を行うなどより多くの観光客に滞在していただけるような事業を実施。 新たなファンイベント等を開催し、より多くの観光集客を図るとともに宿泊交流人口の増加を図った。 ・『やまびこDAYS』4/7(日) 来場者約100名 売上42,710円 ・『七ヶ宿 やまびこの森 Work Shop Fes』 8/31(土)－9/1(日) 来場者約300名 売上 777,800円 ・SUP事業 利用者 R5:270名 R6:390名(前年比144%)	
	③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込)		白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成する。また、「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。	・2市2町の周遊を目的とするスタンプラリーを実施し、470人の応募があった。 ・令和5年度に実施したフォトコンテストの写真を活用し、パンフレットを作成する。	
			角田市	角田市		サイクルツーリズム推進計画策定	令和3年度までの専門家や愛好家からのアドバイスやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクリトレインの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。	R4	サイクルツーリズム推進計画に基づくイベントの実施 ・ファミリーサイクリング	・ファミリーサイクリング(予定) ・自転車乗り方教室 年3回 11月16日、3月(酷暑もあり夏は中止) 親子15組を対象に開催	
			蔵王町	蔵王町		ダイレクトメール発送業務	町内観光施設や近隣施設をはじめ、関東や仙台空港直行便がある関西方面をターゲットに各宮城県事務所を通して、宮城県にゆかりの飲食店や土産店へ観光パンフレットを配架し観光PRを行う。	R2～	町内観光施設や近隣施設を中心に配架し、引き続き観光PRに努める。	令和6年度実施なし	
			蔵王町	蔵王町		仙台駅構内PR事業	仙台駅構内において、蔵王町への観光誘客を目的に、広報宣伝事業・イベント開催等を実施し、近郊からの誘客を図る。	R6	仙台駅構内において物販を開催するとともに、移住定住の紹介ブースを設置するなど、観光目的以外での周遊も図る。	9月15日(日)、16日(月・祝)の2日間、仙台駅構内にて物販やワークショップ等の出店とともに、移住定住の相談コーナーの設置を実施した。	市町村振興総合補助金
			蔵王町	蔵王町		山岳信仰を融合した蔵王の神を感じるライフトリップ体験事業【観光庁補助金事業】	①:地域伝統行事の「刈田嶺神社曉詣り」に参加できるコンテンツ造成 ②:地域の神社(湯神神社)を整備し、参拝作法と祭りを復活させるイベントを実施。 ③:②イベント時に、ライトアップを実施 ④:①～③を含む遠刈田温泉の宿泊施設へのツアー商品の造成、販売。	R6	①参加コンテンツ造成 ②神社整備事業 ③ライトアップ事業委託契約 ④ツアー商品造成	1月13日(月・祝)～15日(水):特別体験ツアー4参加 1月13日(月・祝)及び15日(水):遠刈田温泉湯けむりライトアップイベント実施	観光庁事業「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	七ヶ宿ファンクラブ事業	「人と場所」や「人と人」の関係性を大切にし、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。	H28～	拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信し100人を目標とする。	R6.12月時点の会員数 団体会員:町外1、個人会員:町外62・町内21 計84 (R6.1末時点の会員数:78) 七ヶ宿くらし研究所主催の稲刈りやホテル観賞等イベント等への参加により交流が図られた。 引き続きHPやSNS等を活用し情報発信を行う。	
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	H28～	七ヶ宿ブランドの認知向上のため、なないろすとの活用、SNSやホームページ等での周知、物産展などでのPRを行っていく。	「七ヶ宿ブランド」の認定や新規認定品の開発支援などを行うとともに、町外のイベントで販売会を行った他、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行い七ヶ宿ブランドの認知向上を図った。 ・新規認定 3品、更新認定 1品 計20品 ・イベント販売(地場産業振興協議会事業、東北絆祭り等)	
			大河原町	仙南2市7町		みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業	仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。	R1～	・みやぎ仙南サイクルツーリズムTV番組制作事業 TV番組として、蔵王の麓に広がる仙南地域のサイクリングの魅力を紹介する映像作品を制作(委託)し、サイクリスト誘客を図ります。 ◆番組構成(案) 仙南地域を1泊2日でサイクリングで巡り、サイクリストの目線で、自然や風景、おすすめスポットを紹介。 サイクリングのノウハウや楽しむコツも伝えます。 ◆放送 BS11で放送 ※放送後Youtube、Tverで視聴可 ◆放送時期 9月または10月を予定(再放送あり)秋の行楽シーズンでの誘客を図ります。	【みやぎ仙南サイクルツーリズムTV番組制作事業】 TV番組として、蔵王の麓に広がる仙南地域のサイクリングの魅力を紹介する映像作品を制作(委託)し、サイクリスト誘客を図った。 ◆番組構成 仙南地域をサイクリングアンバサダー井手川直樹氏が1泊2日でサイクリングで巡り、サイクリストの目線で、自然や風景、おすすめスポットを紹介。サイクリングのノウハウや楽しむコツも伝えます。 ◆放送局・日程 BS11 令和6年9月29日放送 ◆視聴者数 16,000人(ライブ視聴者1.2万人、録画0.4万人) Youtube 5,000人、Tver5,600人 ※10/5現在 ◆特設サイト公開 推進会議HP内に番組特設サイトを公開。コース詳細やコース動画を掲載。 ◆サイクリング体験会「Sennan cycling day」開催 番組で紹介したコースをもとに、サイクリング体験会を開催。 白石、丸森、角田、柴田、大河原町を走行。 経験者コース 14名参加 ビギナーコース4名参加	市町村振興総合補助金
			村田町	村田町観光物産協会	スポーツランドSUGO	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択事業【武蔵カート】	村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カートによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。	R4	R6年度に関しては検討中	今年度実施無し	観光庁
			村田町	村田町スポーツランドSUGO	・宮城県 ・大河原地方振興事務所	FIMアジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド	スポーツランドSUGOと村田町の共催で「FIMアジアロードレース選手権」を開催。スポーツランドSUGOでは15年ぶりとなる国際大会で日本を含めたアジア各国からトップライダーが参戦。今回のレースをきっかけにインバウンド観光客増を図る。	R4	R6年度は実施なし		
			村田町	村田町観光物産協会	村田町	観光HP構築事業	観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う	R2～	昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行う	昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行う	

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組（令和6年度実績（令和7年3月までの見込み含む））

令和 6 年 12 月 末 作成

圏域施策 大項目	圏域施策 中項目	再 掲	報告担当 市町名	管内実施主体 ^{注1)}	他自治体・関係団体 等との連携 ^{注2)}	事業名	事業概要	事業 期間 ^{注3)}	R6年度計画	R6年度実績(R7年3月までの見込み含む)	財源 ^{注4)}	
(1)新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組	③地域のコンテンツ等の一体的PRやテーマ性を持った広域周遊の促進(近隣観光需要の取込)		村田町	村田町商工会	村田町	商店街にぎわい創出事業、生活応援スタンプラリー事業	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小規模の小売・サービス事業者等の売上回復を図る	R2～	前年同様開催予定。	11月1日から30日まで「秋の味覚 買い歩きスタンプラリー」を実施。参加店は47店舗あり、5ヶ所のスタンプを集めた応募数は町内外から652枚となった。		
			村田町	村田町	村田町		宮城オルレ村田コース	宮城オルレ5番目として仙南初オープンした宮城オルレ村田コース。オルレ村田コースをきっかけに国内外からの観光客増を図る。	R5～	秋に、宮城オルレフェアが県内の全コースで開催されるのに合わせ、村田コースでも開催予定。また、独自のイベントも開催予定	オープンから1年経過し、今年度11月までに約4000人が村田コースを訪れ、外国人旅行者のオルレツアーや旅行行程にオルレを活用した周遊ツアーが民間主体で年数回実施されるなど、多くの利用者で賑わいを見せた。 10月19日(土)に宮城オルレ「村田コース」の1周年を記念したトレッキングイベントを「宮城オルレフェア2024」の一環として開催した。1週間程で募集定員の150名に達したため、募集枠を拡大し、200名を超える募集があった。開催日の天気予報が雨だったこともあり、当日は154名の参加者が村田コースを歩きフィニッシュを目指した。	
			柴田町	柴田町		・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会(県南2市9町)	ガーデンツーリズム推進事業	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	R2～	・国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の活用による事業展開 ・県南地域の観光振興の方向性を示す未来ビジョン(実行計画)の策定 ・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会ホームページの強化 ・ツアーコースの造成 ・協議会HPやSNS、情報誌、マスコミ等による積極的な情報発信	・7月 「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」総会の開催 ・7月～「未来ビジョン」素案作成中 ・9月 国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の交付申請、決定手続き ・9月～当議会PR用パンフレット作製中 ・9月～協議会HPの機能強化を対応中 ・11月～自治体ワーキンググループ(第1回)開催 ・12月 ガーデンツーリズム・モニターツアーを開催(東北ちゅらトラベル) ・5月～12月「東北絆まつり」「SUGO MTGフェア」「布袋まつり」「おおがわら桜イルミネーション」等のイベントでのPR、情報発信 ・1月～自治体ワーキンググループ(第2回)開催 ・2月～3月 未来ビジョン素案、6年度事業実績報告書作成	・市町村振興総合補助金(R2～R4) ・官民連携まちなか再生推進事業(R5～R7)
			柴田町	柴田町	柴田町観光物産協会	ウィズコロナにおける新しいマイクロツーリズム推進事業	新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに感染防止の観点で広がった「マイクロツーリズム」の実践を目指した事業。コロナ下で年間イベントは中止とせざるを得ない状況となったが、その中でも地域経済の循環や国内旅行者の誘客を図る実証実験として、「しばたオタムガーデンフェスタ」を令和2年度から実施してきた。	R2～R5	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、開催趣旨の目的達成によりR5で終了。	—	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(R2) 町費(R3～R5) ※当事業はR2～R5で終了	
			柴田町	柴田町		・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会 ・みやぎ大菊花展柴田大会実行委員会	交流人口拡大事業	町の観光資源である「花」を活用し、「花のまち柴田」をテーマに1年をとおして四季の花まつりを開催し、交流人口や関係人口の拡大を図るもの。	継続	・しばた紫陽花まつり(6月中旬～7月上旬予定) ・しばた曼珠沙華まつり(9月中旬～10月上旬予定) ・みやぎ大菊花展柴田大会(10月20日～11月13日予定) ・Shibata Fantasy Illumination(12月上旬～下旬予定) ・しばたスプリングフラワーフェスティバル (3月中旬予定)	・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回比84％/R6:260,000人 前回比113％) ・しばた紫陽花まつり(6月21日～7月7日) (R5:15,765人 前年比138％/R6:13,353人 前回比85 %) ・しばた曼珠沙華まつり(9月21日～10月6日) (R5:11,466人 前年比113％/R6:7,657人 前回比67 %) ・みやぎ菊花展柴田大会(10月20日～11月13日) (R5:5,150人 前年比99％/R6:3,827人 前回比74 %) ・Shibata Fantasy Illumination(12月14日～1月13日) (R5:22,889人。前年比148％)※開催中 ・しばたスプリングフラワーフェスティバル(R7年3月9日)※予定 (R5:1,006人 前年比100％)	町費
			川崎町	川崎町商工会	川崎町商工会	ふるさと応援商品券発行事業	町内全世帯へ商品券を配布することにより、消費喚起及び地元のよさを再発見する機会の創出を図る。	R2～R5		(R5で終了)	(町費)	
			川崎町	川崎町商工会	川崎町商工会	プレミアム商品券事業	3割増のプレミアム付商品券を発行することにより、町民の購買意欲を喚起し町内経済を循環させることで、足元の売上高を復調させることを目的に実施します。	R6	川崎町プレミアム商品券(予算額4,500千円) →3割増(10,000円で13,000円分)1,000セット →1人2セットまで購入可	8月25日(日) 1,000セットを販売。1時間もかからず完売。大好評であった。	町費	
			川崎町	川崎町	川崎町総合観光・物産情報誌作製事業	観光需要の変化に伴う紙面情報の精査と更新により、新たな誘客を図る。	R5～	観光情報誌への川崎町特集ページを設けた観光PR掲載を予定。小冊子には観光情報誌として思わず手に取るような工夫を行う。 掲載内容については、観光のみならず地域振興に繋がるような紙面情報として発信する	外国人観光客対応に向けた観光情報誌として、人気の高い「温泉地ガイド」の翻訳業務を行うとともに、印刷製本として3,000部を発刊。国営みちのく森の湖畔公園を中心に配架予定。	町費		
			川崎町	川崎町		包括的シティプロモーション事業	新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施するもの。	R3～	・Youtubeコンテンツ制作 →全12回 ・SNSショート動画制作(回数未定) ・ラジオ番組制作 →全24回 ※強調したいイベントは継続し、前例踏襲の偏りなく関心度の高い話題の提供とする。	計画行程のとおり実施中	町費	
			丸森町	丸森町商工会	丸森町商工会	丸森町町内経済活性化事業	新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ地域経済の活性化を図る。	R3～R5	【2割増商品券販売会】 2,000セット販売予定	(「まるもり地域ポイント事業」実施)	町予算	
			丸森町	丸森町商工会	丸森町商工会	まるもり地域ポイント事業	町内の登録店舗で利用できるデジタル地域ポイントを新たに導入し、地域内の消費拡大を通じた地域経済の活性化を図ることを目的とした実証事業	R6～	デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」上で機能する丸森町のミニアプリ「まるもり地域ポイント」を、抽選で1000名に2000ポイントを付与する。 抽選ではずれた方を対象に、令和7年1月31日に二次抽選を行う。 宮城県の「みやぎポイント」事業と同スケジュールで進める。	ポイント抽選期間:令和6年11月18日～令和7年1月25日 ポイント利用期間:令和7年1月6日～令和7年2月28日 取扱店舗:24社	町予算 宮城県デジタル地域通貨導入推進事業費補助金	
			大河原地振	大河原地振	・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県県北地域	広域観光・物産情報の発信強化事業	①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」	R4	・公式X(旧Twitter)を活用したSNSキャンペーンを実施することで、さらなる発信力の向上を図る。 ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。	・SNSキャンペーンの実施 ・SNS情報発信戦略会議(従来の更新に加え、テーマやターゲットを設定した、体系的なPR) ・今年度の「ひなの郷せんなん」の周遊促進企画は、観光地域づくりチャレンジ事業に組み込んで実施することとなった。そのため、今年度の協議会予算からは提出しない。	県単	
			大河原地振	大河原地振	・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市	広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化	①3県連携事業 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	H30～	【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県北地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 ・「道の駅ふくしまつながるフェスタ」 ・「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 ・「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」	【3県連携】 ・スマホでカンタン！至福のスイーツトリップスタンプラリー(8/31～11/30) ・「道の駅ふくしまつながるフェスタ」(11/3) 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツマルシェ(おもしろいし4/20・21、道の駅かくだ5/25、道の駅村田10/5・6、合庁マルシェ7/26、9/25、11/22) ・「湯めぐりにゃんこけし」Instagramフォロー&いいねキャンペーン(11/15～12/15) ・「地域の逸品」販売店舗での販促、展示即売会(県庁ロビー 12/16～18)、新規認定 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」(7/1～9/30)	【3県連携】 宮城県、福島県、山形県 【大河原地振行事】 県単 【県南地域部会】 部会予算	
			大河原地振	大河原地振	・管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一体的な広報を実施	管内施設から68か所を選定。Webページで広報。 うち9市町から各1か所の施設を選定し、リーフレット、WEBサイトによる重点的なPRを実施。 仙台圏圏の子育て世代を中心に交流人口の拡大を図る。	県単	

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和6年度実績(令和7年3月までの見込み含む))

令和 6 年 12 月 末 作成

圏域施策 大項目	圏域施策 中項目	再 掲	報告担当 市町名	管内実施主体 ^{注1)}	他自治体・関係団体 等との連携 ^{注2)}	事業名	事業概要	事業 期間 ^{注3)}	R6年度計画	R6年度実績(R7年3月までの見込み含む)	財源 ^{注4)}	
(2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進	①みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案		大河原地振	大河原地振	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	ブランド創造会議開催事業	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。	継続	みやぎ蔵王三十六景を活用した地域振興・産業振興に資する活動の検討、第6期みやぎ観光戦略プラン案の検討、仙南地域の観光施策の検証等のため、各分野の代表による会議を開催する。	みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議を、みやぎ観光振興会議仙南圏域会議と併催。観光担当課長会議と併催 1回(4/17) みやぎ観光振興会議と併催 3回(8/1、10/28、1/14)・9/6除く 地域の逸品新規認定(ゆずバスク・大河原町、10/30認定)	県単	
	②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進	○	白石市	白石市			地域おこし協力隊を活用した観光振興事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2～	令和5年度に造成した本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップや、旅行会社へのPRを行う。また、外国人観光客の誘客につながるよう、SNSや動画投稿サイトへの情報発信を行う。	・令和6年11月までの甲冑体験人数 401人 ・テレビ朝日「10万円でできるかな」、NHK「COOL JAPAN」への出演 ・桜まつりやGWなど、多くの方が来場するタイミングでイベントを実施している。 ・伊達武将隊片倉小十郎景綱と連携したイベントを開催し、45人が参加者した。	
			角田市	角田市	・亘理町 ・山元町	イベント運営事業	登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。	継続	関係市町と連携し参加者の募集を募り、登山ルートの設定や、四方山に詳しい講師を招き、四方山の良さを伝える。また、各町の特産品を活かしたお土産セット(菓子類)を用意し参加者へ提供する。 ・四方山トレッキングの開催(10月26日(土)予定)	10月26日(土) 参加者:37名 講師:亘理歩好会 4名 コース:亘理町慶月院の墓入口～夜討坂～黒森山～四方山山頂 亘理町、山元町、角田市の特産品をお土産として参加者へ提供。		
			蔵王町	蔵王町	・遠刈田温泉旅館組合 ・蔵王町商工会 ・(一社)蔵王町観光物産協会 他	蔵王町体験交流活動推進協議会事業	蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。	継続	学校や旅行会社からの問い合わせの対応や町内受入事業者との連携を図り、満足度の高い体験を提供できるように努める。また、教育旅行セミナーなど商談会に参加して積極的な営業活動を行い新規の受入団体増加を目指す。継続してホームページを活用した情報発信を強化する。	・教育旅行5校(県内3校、県外2校)受入…陶芸体験・こけしの廃材を活用したクラフト体験 他 ・県内外より教育旅行の問い合わせの対応や学校や旅行会社の要望に合わせた町内各事業者との連絡調整 1件(令和7年度仙台市立中学校) ・教育旅行セミナーと商談会への参加 ・協議会ホームページでの情報発信		
			○七ヶ宿町	七ヶ宿町	・七ヶ宿町商工会 ・七ヶ宿町観光協会	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	H28～	七ヶ宿ブランドの認知向上のため、なないろすとあの活用、SNSやホームページ等での周知、物産展などでのPRを行っていく。	「七ヶ宿ブランド」の認定や新規認定品の開発支援などを行うとともに、町外のイベントで販売会を行った他、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行い七ヶ宿ブランドの認知向上を図った。 ・新規認定 3品、更新認定 1品 計20品 ・イベント販売(地場産業振興協議会事業、東北絆祭り等)		
			七ヶ宿町	仙南2市7町		仙南地域地場産業振興協議会	仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。	継続	引き続き首都圏での観光PRや県庁販売、各種物産展への出店など仙南のPRを行う。	下記日程で実施予定 みやぎふるさとプラザ販売 6/26～7/2 つながるフェスタ 11/2～11/3 県庁販売 R7. 2/18～2/21 R6年度より川崎町へ事務局引継ぎ		
			大河原町	大河原町	大河原町観光物産協会	食のブランド化事業	地域食材を活用した名物づくり	R1～R5	令和5年度で終了。 観光物産協会主体での新規事業を検討、実施する予定。	令和5年度から大河原町観光物産協会が事業実施。 地域の飲食店や食材のPRを行う。内容、方法を検討中。		
			柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	・「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信 ・桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成 ・「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信	・4月～ 「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回比84%/R6:260,000人 前回比113%) ・11月～ 「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・1月～3月 桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成	町費	
			○大河原地振	大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会(大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等)	・管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市	広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化	①3県連携事業 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	H30～	【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県北地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 ・「道の駅ふくしまつながるフェスタ」 ・「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探索！2024」	【3県連携事業】 ・スマホでカンタン！至福のスイーツトリップスタンプラリー(8/31～11/30) ・「道の駅ふくしまつながるフェスタ」(11/3) 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツマルシェ(おもしろい4/20・21、道の駅かくた5/25、道の駅村田10/5・6、合庁マルシェ7/26、9/25、11/22) ・「湯めぐりにゃんこけし」Instagramフォロー&いいねキャンペーン(11/15～12/15) ・「地域の逸品」販売店舗での販促、展示即売会(県庁ロビー 12/16～18)、新規認定 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探索！2024」(7/1～9/30)	【3県連携】 宮城県、福島県、山形県 【大河原地振行事】 県単 【県南地域部会】 部会予算	
	○大河原地振	大河原地振	・管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、体系的な広報を実施	管内施設から68か所を選定。Webページで広報。 うち9市町から各1か所の施設を選定し、リーフレット、WEBサイトによる重点的なPRを実施。 仙台圏域の子育て世代を中心に交流人口の拡大を図る。	県単			
	③WEB、SNS等を活用した仙南地域の一体的な観光情報発信	○	白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成する。また、「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。	・2市2町の周遊を目的とするスタンプラリーを実施し、470人の応募があった。 ・令和5年度に実施したフォトコンテストの写真を活用し、パンフレットを作成する。		
			○村田町	村田町観光物産協会	村田町	観光HP構築事業	観光HP構築による観光情報の発信・プロモーションを行う	R2～	昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行う。	昨年引き続き、観光HPなどで観光情報の発信店プロモーションを行う	地方創生交付金	
			柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	・2町共通桜パンフ、マップ製作	・4月～ 「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回比84%/R6:260,000人 前回比113%) ・11月～ 「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・1月～3月 桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成	町費	
			○川崎町	川崎町		包括的シティプロモーション事業	新型コロナウイルスの影響により、荒吐は2年連続で中止となり、若い世代に向け、川崎町を広くPRする機会が失われた。これを挽回するため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施するもの。	R3～	・Youtubeコンテンツ制作 →全12回 ・SNSショート動画制作(回数未定) ・ラジオ番組制作 →全24回 ※強調したいイベントは継続し、前例踏襲の偏りなく関心度の高い話題の提供とする。	計画行程のとおり実施中	町費	
			○大河原地振	大河原地振	・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域	広域観光・物産情報の発信強化事業	①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」	R4	・公式X(旧Twitter)を活用したSNSキャンペーンを実施することで、さらなる発信力の向上を図る。 ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。	・SNSキャンペーンの実施 ・SNS情報発信戦略会議(従来の更新に加え、テーマやターゲットを設定した、体系的なPR) ・今年度の「ひなの郷せんなん」の周遊促進企画は、観光地域づくりチャレンジ事業に組み込んで実施することとなった。そのため、今年度の協議会予算からは提出しない。	県単	

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和6年度実績(令和7年3月までの見込み含む))

令和 6 年 12 月 末 作成

圏域施策 大項目	圏域施策 中項目	再 掲	報告担当 市町名	管内実施主体 ^{注1)}	他自治体・関係団体 等との連携 ^{注2)}	事業名	事業概要	事業 期間 ^{注3)}	R6年度計画	R6年度実績(R7年3月までの見込み含む)	財源 ^{注4)}
(2)広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進	④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション		白石市	白石市 七ヶ宿町	・山形県高島町 ・山形県南陽市 ・観光協会 ・旅館組合	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	継続	みちのくおとぎ街道フォトコンテストにおいて応募された作品を活用し、パンフレット等を作成する。また、「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。	・2市2町の周遊を目的とするスタンブラリーを実施し、470人の応募があった。 ・令和5年度に実施したフォトコンテストの写真を活用し、パンフレットを作成する。	
			角田市	角田市 柴田町 丸森町	・阿武隈急行(株) ・沿線市町	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	継続	沿線活性化事業(予定) ・あぶQウォーク(4月21日(日)) ・あぶくま急行絵画コンクール	(1)沿線活性化事業の開催 ○あぶQウォーク(4月21日開催) ・阿武隈急行線沿線の5自治体にウォーキングコースを設定し、参加者はウォーキングを楽しみながら各地の観光地を巡る。 ・4月21日:角田駅～菜の花畑(往復)約8.7km 参加人数:168名 ○わたしたちのあぶくま急行絵画コンクール 期間 12月1日～12月22日(福島県側小学校) 1月11日～1月31日(宮城県側小学校) ・沿線自治体の小学校低学年(1～2年生)の児童を対象に、阿武隈急行の絵画を募集し、阿武隈急行列車内に展示した。 (2)角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業 ○体験乗車会&お絵かきトレイン(3月開催予定) 参加想定人数:40名 ・阿武隈急行駅長による「あぶ急クイズ」や切符の買い方体験、車両窓ガラスへのお絵かき体験を貸切車両で行う予定	
			白石市	白石市 蔵王町	秋田県由利本荘市	みちのく真田ゆかりの地事業	真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。	継続	令和5年度でみちのく真田ゆかりの地観光推進協議会は解散するが、「上田真田まつり」における2市1町の合同PRは継続する。	・白石市で開催する「鬼小十郎まつり」、蔵王町で開催する「産業まつり」において、合同PRを実施した。 ・「上田真田まつり」に白石市のブースを出展しPRを行った。	
			村田町	村田町 株式会社日本レースプロモーション	三重県鈴鹿市 大分県日田市 静岡県小山町 静岡県御殿場市 静岡県裾野市	地域連携パートナーシップ	「地域連携パートナーシップ」は国内におけるモータースポーツ振興と地域活性化を図ることを目的としており、株式会社日本レースプロモーションからは各種メディアやイベントを通じた各自治体のPRや、SUPER FORMULAに関する映像や肖像を無償提供。また、各自治体においては、地元サーキットで大会が開催される期間だけでなく、他の地域で大会が開催される期間においても、年間を通じてサーキットの内外にてSUPER FORMULAの権利を活用したPR活動を行うことが可能。	R6 (R6～新規)	6月3日に「地域連携パートナーシップ」協定を締結し、6月21日には「伊達武将隊」「やまがた愛の武将隊」立会いのもと、協定書の交換式がスポーツランドSUGOにて行われた。6月22日、23日に開催された、「SUPER FORMULA 第3戦 東北大会 スポーツランドSUGO」では、地域連携ブースを設置し、同協定を締結している連携自治体の観光PRもあわせて行った。		
			柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業(インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	・「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信 ・桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成 ・「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信	・4月～ 「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回比84%/R6:260,000人 前回比113%) ・11月～ 「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・1月～3月 桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成	町費
			大河原地振	大河原地振	・管内市町 ・山形県置賜地域 ・福島県東北地域	広域観光・物産情報の発信強化事業	①SNSを活用した観光PRの強化 ②「ひなの郷せんなん」	R4～	・公式X(旧Twitter)を活用したSNSキャンペーンを実施することで、さらなる発信力の向上を図る。 ・管内ひな祭りイベントを一体的にPRするため、チラシ・ポスターを作成する。それに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会と連携した周遊促進企画等を検討し、「ひなの郷せんなん」のイメージ定着と仙南地域の周遊促進を図る。	・SNSキャンペーンの実施 ・SNS情報発信戦略会議(従来の更新に加え、テーマやターゲットを設定した、体系的なPR) ・今年度の「ひなの郷せんなん」の周遊促進企画は、観光地域づくりチャレンジ事業に組み込んで実施することとなった。そのため、今年度の協議会予算からは提出しない。	県単
(3)広域連携による多様な魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実	①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成		白石市	白石市		地域おこし協力隊を活用した観光振興事業	地域おこし協力隊による地域の魅力掘り起こし、地域資源を活用した観光事業の充実を目指す。	R2～	令和5年度に造成した本格甲冑体験の体験者を増加させるため、体験内容のブラッシュアップや、旅行会社へのPRを行う。また、外国人観光客の誘客につなげるよう、SNSや動画投稿サイトへの情報発信を行う。	・令和6年11月までの甲冑体験人数 401人 ・テレビ朝日「10万円ですでかな」、NHK「COOL JAPAN」への出演 ・桜まつりやGWなど、多くの方が来場するタイミングでイベントを実施している。 ・伊達武将隊片倉小十郎景綱と連携したイベントを開催し、45人が参加者した。	
			角田市	角田市		グリーンツーリズムによる体験型観光の実施	道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進	R4	農業収穫体験 8月 とうもろこし収穫体験 9月 梨もぎとり体験 10月 枝豆収穫体験 11月 ねぎまつり(ねぎ収穫体験)	農業収穫体験 8月4日 とうもろこし収穫体験 9月7日 シヤインマスカット収穫体験 5月12日、5月19日、8月17日・18日、9月14日 梨園再生チャレンジ 休耕農地の再生に取り組んでいる梨園を手伝い、収穫を体験。 10月6日 秘伝豆収穫体験 11月23日、12月21日ねぎ収穫体験 ※ 梅については不作につき、6/8 梅まつりでの青梅販売に留まる。	
			蔵王町	蔵王町	・遠刈田温泉旅館組合 ・蔵王町商工会 ・(一社)蔵王町観光物産協会 他	蔵王町体験交流活動推進協議会事業	蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。	継続	学校や旅行会社からの問い合わせの対応や町内受入事業者との連携を図り、満足度の高い体験を提供できるように努める。また、教育旅行セミナーなど商談会に参加して積極的な営業活動を行い、新規の受入団体増加を目指す。継続してホームページを活用した情報発信を強化する。	・教育旅行5校(県内3校、県外2校)受入…陶芸体験・こけしの廃材を活用したクラフト体験 他 ・県内外より教育旅行の問い合わせの対応や学校や旅行会社の要望に合わせた町内各事業者との連絡調整 1件(令和7年度仙台市立中学校) ・教育旅行セミナーと商談会への参加 ・協議会ホームページでの情報発信	
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	農業体験などによる宿泊型交流事業	宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。	R1～	(株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通したイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図るほかSDGsにも寄与する。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ仙台)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。	・(株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通したイベントを展開し、町に訪れる交流人口の増加を図った。 ・第1回種まき体験実施 5/25(土) 参加者6名 ・第2回種まき体験実施 6/8(土) 参加者5名 ・収穫体験会 10/5(土) 参加者31名 ・ベガルタ観戦町民ツアーにおいて収穫した野菜の販売会を実施 10/19(土)	
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	南蔵王やまびこの森整備事業	南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをおとして地元の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。	R1～	引き続きキャンプ場運営だけでなく、長老湖でのアクティビティなど観光集客につながる事業展開を行う。	キャンプ場運営に加え、長老湖を利用した SUP体験や貸しポート事業のほか新たに売店営業を行うなどより多くの観光客に滞在していただけるような事業を実施。 新たなファンイベント等を開催し、より多くの観光集客を図るとともに宿泊交流人口の増加を図った。 ・『やまびこDAYS』4/7(日) 来場者約100名 売上42,710円 ・『七ヶ宿 やまびこの森 Work Shop Fes』8/31(土)～9/1(日) 来場者約300名 売上 777,800円 ・SUP事業 利用者 R5:270名 R6:390名(前年比144%)	
			七ヶ宿町	七ヶ宿町	七ヶ宿まちづくり(株)	七ヶ宿ファンクラブ事業	「人と場所」や「人と人」の関係性を大切にし、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。	H28～	拡充した内容をPRし、多くの人に七ヶ宿ファンになってもらうよう情報発信し100人を目標とする。	R6.12月時点の会員数 団体会員:町外1、個人会員:町外62・町内21 計84 (R6.1末時点の会員数:78) 七ヶ宿くらし研究所主催の稲刈りやホテル観賞等イベント等への参加により交流が図られた。 引き続きHPやSNS等を活用し情報発信を行う。	
			村田町	村田町観光物産協会	スポーツランドSUGO	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」採択事業【武将カート】	村田町観光物産協会主催事業。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、カートによる対決(合戦)を実施。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競うイベント。カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。	R4	R6年度に関しては検討中	今年度実施無し	観光庁

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組(令和6年度実績(令和7年3月までの見込み含む))

令和 6 年 12 月 末 作成

圏域施策 大項目	圏域施策 中項目	再 掲	報告担当 市町名	管内実施主体 ^{注1)}	他自治体・関係団体 等との連携 ^{注2)}	事業名	事業概要	事業 期間 ^{注3)}	R6年度計画	R6年度実績(R7年3月までの見込み含む)	財源 ^{注4)}
(3)広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実	①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成		柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination (12月上旬～下旬予定):22,889人	・4月～「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回は84％/R6:260,000人 前回比113％) ・11月～「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・1月～3月 桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成	町費
			柴田町	柴田町	・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	光のまちづくり推進事業 (ナイトツーリズム)	オフタイム・オフシーズンの観光客数増加、知名度向上のため、各イベントでのライトアップ、イルミネーション、夜間イベントを開催する。	継続	・Shibata Fantasy Illumination2024 (12月上旬～下旬予定)	・4月～「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回は84％/R6:260,000人 前回比113％) ・11月～「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略	町費
			丸森町	(一財)丸森町観光物産振興公社	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会	グリーン・ツーリズムと連動した旅行業展開	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森“こらいん”ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品を造成・販売	継続	○セタまつり2024(仮)企画 ・大内地区に残る「セタ」という地名と「セタ神社およびその伝説」を、町の珍しい観光資源や文化と捉え、町内・町外へ発信していく機会として、セタまつりを企画・実施する。 周辺の直売所、旧大内小学校で物販や体験イベントなどを実施予定。 ○町歩き、地域歩き企画 ・R6年度は地域巡り(場所は未定)を実施し、改めて地域ごとの魅力を知るきっかけ作りの企画を検討中。 ○栗拾い体験企画 ・昨年同様に、本年9月に2回実施する予定で検討中。 ○ころ柿作り体験 ・例年通り、開催予定。	○セタまつり2024 ・6月15日(土)に長町駅前の「ながまちテラス」にてブースを出店しPR活動を実施。 ・7月7日(日)にセタまつり2024を実施。 第一会場で「食」、第二会場で「体験」、セタ神社では御朱印頒布を行った。 当日の各会場を巡って集めるシールラリーも開催。 各会場の来客数は、のべ約1,000人。 ・「まるもりふるさと館」にて、7/2(火)～8/12(月・祝)「セタ特別企画」 セタ神楽の神楽道具展を開催中。 ○栗拾い×栗を味わう会」 9/27(金)、9/29(日)の2回実施。参加者総数48名で開催 ○ころ柿作り体験会in耕野」 11/23(土)、11/24(日)の2回実施。参加者総数41名で開催	町補助金
			○ 大河原地振	大河原地振	・管内市町	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一體的な広報を実施	管内施設から68か所を選定、Webページで広報。 うち9市町から各1か所の施設を選定し、リーフレット、WEBサイトによる重点的なPRを実施。 仙台圏域の子育て世代を中心に交流人口の拡大を図る。	県単
			○ 角田市	角田市		サイクルツーリズム推進計画策定	令和3年度までの専門家や愛好家からのアドバイスやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクリトレインの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。	R4	サイクルツーリズム推進計画に基づくイベントの実施 ・ファミリーサイクリング	・ファミリーサイクリング(予定) ・自転車乗り方教室 年3回 11月16日、3月(酷暑もあり夏は中止) 親子15組を対象に開催	
	②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成		○ 大河原町	仙南2市7町		みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業	仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。	R1～	(再掲のため、修正後のみ掲載) ・みやぎ仙南サイクルツーリズムTV番組制作事業 TV番組として、蔵王の麓に広がる仙南地域のサイクリングの魅力を紹介する映像作品を制作(委託)し、サイクリスト誘客を図ります。 ◆番組構成(案) 仙南地域を1泊2日でサイクリングで巡り、サイクリストの目線で、自然や風景、おすすめスポットを紹介。 サイクリングのノウハウや楽しむコツも伝えます。 ◆放送 BS11で放送 ※放送後Youtube、Tverで視聴可 ◆放送時期 9月または10月を予定(再放送あり)秋の行楽シーズンでの誘客を図ります。	【みやぎ仙南サイクルツーリズムTV番組制作事業】 TV番組として、蔵王の麓に広がる仙南地域のサイクリングの魅力を紹介する映像作品を制作(委託)し、サイクリスト誘客を図った。 ◆番組構成 仙南地域をサイクリングアンバサダー井手川直樹氏が1泊2日でサイクリングで巡り、サイクリストの目線で、自然や風景、おすすめスポットを紹介。サイクリングのノウハウや楽しむコツも伝えます。 ◆放送局・日程 BS11 令和6年9月29日放送 ◆視聴者数 16,000人 (ライブ視聴者1.2万人、録画0.4万人) Youtube 5,000人、Tver5,600人 ※10/5現在 ◆特設サイト公開 推進会議HP内に番組特設サイトを公開。コース詳細やコース動画を掲載。 ◆サイクリング体験会「Sennan cycling day」開催 番組で紹介したコースをもとに、サイクリング体験会を開催。 白石、丸森、角田、柴田、大河原町を走行。 経験者コース 14名参加 ビギナーコース4名参加	市町村振興総合補助金
			○ 柴田町	柴田町	・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会(県南2市9町)	ガーデンツーリズム推進事業	・みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係事項の増加を図る。 ・ガーデンツーリズムを推進するとともに、自然景観、温泉、歴史、文化等の観光資源を活用し、地域経済の活性化を図る。	R2～	・国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の活用による事業展開 ・県南地域の観光振興の方向性を示す未来ビジョン(実行計画)の策定 ・みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会ホームページの強化 ・ツアーコースの造成 ・協議会HPやSNS、情報誌、マスコミ等による積極的な情報発信	・7月 「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」総会の開催開催 ・7月～「未来ビジョン」素案作成中 ・9月 国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の交付申請、決定手続き ・9月～当議会PR用パンフレット作製中 ・9月～協議会HPの機能強化を対応中 ・11月～自治体ワーキンググループ(第1回)開催 ・12月 ガーデンツーリズム・モニターツアーを開催(東北ちゅうらトラベル) ・5月～12月「東北絆まつり」「SUGO MTGフェア」「布袋まつり」「おおがわら桜イルミネーション」等のイベントでのPR、情報発信 ・1月～自治体ワーキンググループ(第2回)開催 ・2月～3月 未来ビジョン素案、6年度事業実績報告書作成	・市町村振興総合補助金(R2～R4) ・官民連携まちなか再生推進事業(R5～R7)
			○ 柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会 ・柴田町観光物産協 ・「花のまち柴田」イベント開催実行委員会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	【柴田町】 ・Shibata Fantasy Illumination (12月上旬～下旬予定):22,889人	・4月～「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり(3月29日～4月14日) (R5:230,000人 前回は84％/R6:260,000人 前回比113％) ・11月～「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・1月～3月 桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成	町費
			○ 大河原地振	大河原地振 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会 (大河原地振、仙南2市7町、管内観光関連団体等)	・管内市町(食育ローディネーター、生活改善グループ等) ・山形県置賜地域 ・国道113号線観光推進協議会 ・福島県福島市 ・福島県伊達市	広域連携による仙南地域への誘客促進・「食」のブランド化	①3県連携事業 ②道の駅等と連携したマルシェ開催 ③「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ④みやぎ蔵王温泉郷振興事業 ⑤仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	H30～	【3県連携事業】 山形置賜地域、福島県北地域と連携し、フルーツを使用したスイーツを巡るデジタル周遊企画を実施 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 ・管内道の駅等と連携したスイーツイベントを年3回程度開催 ・「道の駅ふくしまつながらフェスタ」 ・「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズによる認知度向上 ・「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォト企画 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」	【3県連携事業】 ・スマホでカンタン！至福のスイーツトリップスタンプラリー(8/31～11/30) ・「道の駅ふくしまつながらフェスタ」(11/3) 【大河原地振事業】 ・せんにゃんスイーツマルシェ(おもしろい4/20・21、道の駅かくた5/25、道の駅村田10/5・6、合庁マルシェ7/26、9/25、11/22) ・「湯めぐりにゃんこけし」Instagramフォロー＆いいねキャンペーン(11/15～12/15) ・「地域の逸品」販売店舗での販促、展示即売会(県庁ロビー 12/16～18)、新規認定 ・せんにゃんスイーツ&カフェマップ改訂 【県南地域部会】 ・「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」(7/1～9/30)	【3県連携】 宮城県、福島県、山形県 【大河原地振行事】 県単 【県南地域部会】 部会予算

第5期みやぎ観光戦略プラン「圏域の施策の方向性」に基づく具体的取組（令和6年度実績（令和7年3月までの見込み含む））

令和 6 年 12 月 末 作成

圏域施策 大項目	圏域施策 中項目	再 掲	報告担当 市町名	管内実施主体 ^{注1)}	他自治体・関係団体 等との連携 ^{注2)}	事業名	事業概要	事業 期間 ^{注3)}	R6年度計画	R6年度実績(R7年3月までの見込み含む)	財源 ^{注4)}
(4)仙南地域の観光を支える人材育成	①観光地域リーダー研修、観光地域づくりの意識啓発		大河原地振	大河原地振	管内市町	仙南地域観光人材育成事業	地域の観光を担う人材育成を目的として、官・民、業種を超えた実務者層を対象とした講座を開催する。	R5～R7	・R5事業成果を踏まえ、1年目の内容のステップアップ ・教育サイドと連携し、地元高校生等による地元愛醸成や地域資源発掘などの人材育成（大河原産業高校との連携を想定）	宮城創生DMOに委託し、市町・観光事業関係者向けの講座、高等学校生徒向け講座を実施。 ・事業者向け講座 2回（10/9, 10/30） ・高校生講座 6回（6/21, 9/6, 10/11, 10/18, 11/12, 11/15） ・合同講座 1回（1/27）	県単
(5)インバウンド受け入れ体制の強化	①多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信		○ 柴田町	大河原町 柴田町	・「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会 ・柴田町観光物産協会	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業（インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業）	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	継続	・「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信 ・桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成 ・「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信	・4月～「おおがわら桜まつり」、「しばた桜まつり」開催を通した2町連携による、「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・しばた桜まつり（3月29日～4月14日） （R5:230,000人 前回比84％／R6:260,000人 前回比113％） ・11月～「しばたファンタジーイルミネーション」、「おおがわら桜イルミネーション」開催を通した「白石川堤一目千本桜」の国内外に向けた情報発信とブランド化戦略 ・1月～3月 桜まつり開催に合わせた柴田町、大河原町2町共同パンフレットの作成	町費
			○ 大河原地振	大河原地振	管内9市町・観光施設等	観光地域づくりチャレンジ事業	(R6)仙南地域への集客・冬季の周遊促進	1月～3月	(県単事業) 仙南地域への集客・冬季の周遊促進 ひな祭り開催施設(13)、日帰り温泉施設(5)、スキー場(4)、ジオパークセンター(1) 上記施設のうち2箇所を巡り、買い物をして、道の駅で応募、先着順にプレゼント スタンプラリー、ひな祭り施設紹介リーフレットの作成	仙南冬のスタンプラリー ～ひな祭り×温泉×スキー×ジオパークを巡る旅～ 第1弾:令和7年2月1日(土)から2月21日(金) 第2弾:令和7年2月22日(土)から3月14日(金) 第1弾 応募: 名 第2弾 応募: 名	県単
(6)「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進	①国外・県外からの誘客に向けたプロモーション		○ 大河原地振	大河原地振	・管内市町	仙南アドベンチャーーツーリズム推進事業	仙南地域の強みである豊かな自然環境を活用したアドベンチャープログラムを造成し、仙南地域の四季に応じた体験メニューを子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	R4～R6	・R4年度、R5年度事業成果を踏まえ、仙南地域のアクティビティコンテンツを目的別にカテゴリ分けし情報を整理したWEBサイトを作成 ・仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一体的な広報を実施	管内施設から68か所を選定。Webページで広報。 うち9市町から各1か所の施設を選定し、リーフレット、WEBサイトによる重点的なPRを実施。 仙台圏域の子育て世代を中心に交流人口の拡大を図る。	県単
			大河原地振	大河原地振	管内9市町・観光施設等	観光地域づくりチャレンジ事業	(R6)仙南地域への集客・冬季の周遊促進	1月～3月	(県単事業) 仙南地域への集客・冬季の周遊促進 ひな祭り開催施設(13)、日帰り温泉施設(5)、スキー場(4)、ジオパークセンター(1) 上記施設のうち2箇所を巡り、買い物をして、道の駅で応募、先着順にプレゼント スタンプラリー、ひな祭り施設紹介リーフレットの作成	仙南冬のスタンプラリー ～ひな祭り×温泉×スキー×ジオパークを巡る旅～ 第1弾:令和7年2月1日(土)から2月21日(金) 第2弾:令和7年2月22日(土)から3月14日(金) 第1弾 応募: 名 第2弾 応募: 名	県単
(8)仙南地域の観光を支える人材育成	①教育現場における子ども達の地元愛醸成		大河原地振	大河原地振	関係市町	小中学生キャリア教育プログラム	地域産業の魅力に触れ、地域事業者等との交流の機会を通して小中学生の地域に対する愛着と誇りを醸成する。	R5～	引き続き要望のある小中学校と調整し、市町関係課と連携しながら教育現場における子ども達の地元愛を醸成(地域の観光の取組・蔵王ジオパークの取組)	白石市、川崎町、丸森町、柴田町の観光担当課、教育委員会、蔵王町ジオパーク推進室と連携して、白石市、川崎町、柴田町の小学校児童向け、丸森町の中学生生徒向けに、各市町の観光の取り組みや蔵王山の自然についての講座を実施。	県、各市町
	②地域住民による地域資源発掘や理解醸成、観光による持続可能な地域づくりへの啓発		○ 大河原地振	大河原地振	管内市町	仙南地域観光人材育成事業	地域の観光を担う人材育成を目的として、官・民、業種を超えた実務者層を対象とした講座を開催する。	R5～R7	・R5事業成果を踏まえ、1年目の内容のステップアップ ・教育サイドと連携し、地元高校生等による地元愛醸成や地域資源発掘などの人材育成（大河原産業高校との連携を想定）	宮城創生DMOに委託し、市町・観光事業関係者向けの講座、高等学校生徒向け講座を実施。 ・事業者向け講座 2回（10/9, 10/30） ・高校生講座 6回（6/21, 9/6, 10/11, 10/18, 11/12, 11/15） ・合同講座 1回（1/27）	県単

注1)仙南地域の行政・観光協会・商工会・民間事業者等を記載

注2)他地域の自治体や、関係団体(協議会等)との連携による取組の場合は、「他自治体・関係団体との連携」欄に連携先を記載

注3)事業年度の定めがあるものは事業年度を記載

注4)各種交付金、補助金を活用した・活用予定の事業について記載。